※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	２単位	年次	２年後期
使用教科書	新詳『地理探究』（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	最新地理図表 GEO（第一学習社）、新地理要点ノート（啓隆社）、新地理の探究（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の自然環境と、その自然環境に立脚した世界の人々の暮らしがあることを理解する。
・世界各地の地域性を把握し、地域ごとの文化的差異や歴史を理解する。
・現代社会が直面する課題を理解し、国際理解を深めてグローバルな視点を持つ。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・地理的な諸課題を、地域性や歴史的背景、日常生活と関連付けて地理的思考力を培う。
【思考力、判断力、表現力等】
・地理的事象や現代世界の諸課題を、自然分野・人文分野の観点から多面的・多角的に考察できる。
・地理的な見方や思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・地理的諸課題の具体事例から興味関心を高め、主体的に解決策を考える態度を養う。
・世界各地の生活文化の特色や現代世界が抱える諸課題を学び、地域の枠組みや人間の営みと関連付け異文化理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の様々な自然環境や社会環境と人々の生活の関わりについて、基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につける。 様々な地理的事象に関する地図や画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	様々な自然環境と社会環境が世界の地域性を形作っていることに注目し、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界の様々な自然環境や社会環境についての関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	現代世界の地誌的考察	自然環境	a: 世界の地形や気候と、それらに関連する人々の生活に関する基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。また、地図などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 b:世界の地形や気候と、それらに関連する人々の生活の成り立ちについて、地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界の地形や気候と、それらに関連する人々の生活に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	・考査	・考査	・ワークシート ・授業態度
		・資源と産業 ・交通・通信と観光、貿易 ・人口、村落都市 ・生活文化、民族・宗教 ・現代世界におけるこれからの日本の国土像（日本の領土・領域）	a: 世界の産業と、それらに関連する人々の生活に関する基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。世界の産業に関連する人々の生活文化に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b:世界の産業と、それらに関連する人々の生活文化の成り立ちについて、地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界の産業と、それらに関連する人々の生活文化に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	・考査	・考査	・ワークシート ・授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度